

保護者各位

医学部長

拝啓 早春の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。コロナウィルスに明け暮れた一年でしたが、無事に令和二年度の学事日程を終了することができました。皆様のご理解、ご助力のおかげと、心より感謝申し上げます。

本年は、大部分の授業がオンラインにより行われ、学修への影響が心配されましたが、総じて成績は良好でした。しかし、友人関係の構築が困難であったため、孤独に苦しみ、それが健康面、学習面に影響するケースが例年になく多く見受けられました。一方、新型コロナウイルスに感染する学生は若干名にとどまり、学校内でのクラスター発生を回避することができました。

このような状況を鑑み、来年度の授業につきまして大学の方針を説明申し上げます。講義は、学年や科目による違いはありますが、基本的にオンラインで行います。しかし、1、2年生では、希望者は登校しての聴講を選択することができます（ハイフレックス制）。3、4年生では、オンラインPBLチュートリアルによりコミュニケーションの機会を確保します。これらは、友人に接する機会を増やすことに配慮した制度です。また、今年度中は十分にできなかった基礎医学実習（1、2年生）、臨床実習（5、6年生）をできるだけ登校して行いたいと思います。試験は、登校して行う予定です。現在の状況は、学生が医師として働く未来においても起こり得る状況であり、重要な医学教育の機会と考えております。感染防御の方法がある程度確立され、学校を起点とするクラスター発生の事例は多くないため、文科省も対面授業による学修機会の提供を推進しており、本学の方針はそれに沿ったものです。

登校しての授業を安全に行うため、感染防御策の教育と指導をさらに徹底いたします。また、病院勤務の教職員と同様の対応をとり、病院実習がある5・6年生を優先的に希望者へのワクチン接種を行います。感染が疑われる場合は附属板橋病院でのPCR検査を含めた迅速な対応を行っています。また、万が一感染した場合でも感染者の個人情報については厳重な取り扱いをし、必要な医療措置を行います。変異型ウィルスの流行等、未来の予想は大変に難しいものがありますが、社会と学内の状況に柔軟に対応していく所存ですので、ご理解の程よろしくお願い致します。

末筆ではございますが、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

敬具